

SEMI D5-94 (Reapproved 0703)

FPD 基板の標準サイズ

NOTICE: This translation is a REFERENCE COPY ONLY. If differences should exist between the English version and a translation in any other language, the English version is the official and authoritative version.

免責事項： この SEMI スタンドアードは、投票により作成された英語版が正式なものであり、日本語版は日本の利用者各位の便宜のために作成したものです。万が一英語と日本語とに差異がある場合には英語版記載内容が優先されます。

SEMI スタンドアード日本語翻訳版をご利用にあたっての注釈を本文の末尾に記載しております(「すべきである」「しなければならない」について等)。

本スタンドアードは、Flat Panel Display Global Technical Committee で技術的に承認されたもので、Japanese FPD Materials and Components Committee が直接責任を負うものである。現版は、2003 年 4 月 28 日 Japanese Regional Standards Committee にて承認されている。2003 年 7 月にまず www.semi.org で入手可能になり。初版は 1993 年発行。前版は 1994 年発行。

NOTICE: This Standard or Safety Guideline has an Inactive Status because the conditions to maintain Current Status have not been met. Inactive Standards or Safety Guidelines are available from SEMI and continue to be valid for use.

1 目的

1.1 本スタンドアードは FPD 基板の名目上のエッジ長と厚さおよび関連公差の仕様を扱う。

2 範囲

2.1 これらの寸法は、主として AMLCD ディスプレイ製造に使用されている基板に適応する。これらの寸法は他形式のディスプレイ用基板にも適応可能である。エッジ長は 300 mm × 300 mm から 500 mm × 500 mm の範囲を仕様化する。単一の厚み 1.1 mm がすべての基板に適応する。

注意： このスタンドアードはその使用に関連したすべての安全問題を取り扱うことを意図していない。このスタンドアードの使用者は、その責任において、適切な安全および健康上実施すべき事柄を確立し、また使用前に法規制やその他の制限への適用性を判断するものである。

3 参照スタンドアード

3.1 SEMI スタンドアード

SEMI D3 — Quality Area Specification for Flat Panel Display Substrates

SEMI D4 — Method for Referencing Flat Panel Display Substrates

SEMI D12 — Edge Condition Specification for Flat Panel Display Substrates

注意： 別途指示のない場合、引用された全ての文書は最新版を指す。

4 寸法

4.1 エッジ長

表 1 標準（等差数列）エッジ長

300 × 300	300 × 350	300 × 400	300 × 450	300 × 500
	350 × 350	350 × 400	350 × 450	350 × 500
		400 × 400	400 × 450	400 × 500
			450 × 450	450 × 500
				500 × 500

注 1: 500 mm × 500 mm より大きな基板には, 50 mm 毎の増加量でエッジ長が増加することが推奨される。

表 2 標準エッジ長 (mm)

320 mm × 300 mm
320 mm × 400 mm
360 mm × 465 mm

表 3 エッジ長公差

公称値	公差
<400 mm	±0.2 mm
≥400 mm	±0.3 mm

5 厚さ - 1.1 ± 0.1 mm

注 1: 厚みの公称値および公差, <1.1 mm と >1.1 mm は討議中である。

注意: SEMI は, 本書に定められたスタンダードおよび安全ガイドラインが個々のケースに適するか否かの保証も言明もしていない。本スタンダードあるいは安全ガイドラインの適, 不適を判断するのは, 利用者各位の責任となる。また利用者各位は, ここに記載されている製造者の指示, 製品ラベル, 製品データシート, そのほかの関連文献を必ず参照のこと。なお, スタンダードおよび安全ガイドラインは予告なしに変更されることがある。

本スタンダードあるいは安全ガイドラインを発行することにより, SEMI は, 本スタンダードあるいは安全ガイドラインの中に記載された各項目に関連する特許権または著作権の効力の有無について責任ある立場にはない。各特許権または著作権の有効性および権利侵害の危険性についての判断は, 本スタンダードあるいは安全ガイドラインを使用する利用者各位の責任となる。